

鳥羽磯部漁業協同組合の資源管理協定

協定発効日 令和6年2月1日

協定認定日 令和6年2月8日

協定変更認定日 令和7年3月18日

協定変更認定日 令和8年5月14日

(目的)

第1条 本協定は、鳥羽磯部漁業協同組合に所属する漁業者によって漁獲される水産資源の管理に関して、当該水産資源の資源管理の方向性の達成を目的として、本協定に参加している者（以下「参加者」という。）により、当該水産資源に関して自主的な資源管理の目標を定め、当該資源管理の目標の達成のために具体的な取組を行うことで、もって当該水産資源の保存及び管理を図るものである。

(本協定の対象となる水域、水産資源の種類及び漁業の種類)

第2条 本協定の対象となる漁業の種類、水域、水産資源の種類、期間の区切りは、次表のとおりとする。

漁業の種類	水域	水産資源の種類	期間の区切り
海女漁業	菅島、答志、和具浦、神島、安楽島、石鏡、国崎、相等地先	あわび	4月～翌年3月
刺し網漁業	菅島、答志、和具浦、神島、安楽島、石鏡、国崎、相等地先	いせえび	5月～翌年4月
一本釣漁業 刺し網漁業 (流し網)	伊勢湾	さわら	1月～12月
小型機船底 びき網漁業	伊勢湾	さるえび	1月～12月
定置網漁業	漁協管内地先	まあじ	1月～12月

(資源管理の目標)

第3条 本協定における資源管理の目標は、次表のとおりとする。

水産資源の種類	目標
あわび	三重県資源管理方針別紙第3-3に定める資源管理の方向性

いせえび	三重県資源管理方針別紙第3-1に定める資源管理の方向性
さわら	三重県資源管理方針別紙第3-13に定める資源管理の方向性
さるえび	三重県資源管理方針別紙第3-18に定める資源管理の方向性
まあじ	資源管理基本方針別紙第2-5に定める目標

(資源管理の目標の達成のための具体的な取組)

第4条 前条の資源管理の目標の達成のための具体的な取組は、それぞれ次表に掲げるところにより行うものとする。

水産資源の種類	取組内容
あわび	1月1日から3月31日までの間の休漁
いせえび	10月1日から4月30日までの間の10日以上休漁 ただし、鳥羽市離島地域以北の海域においては、9月16日から4月30日までの間
さわら	年間15日以上休漁（一本釣り） 7月1日から12月31日までの間の10日以上休漁（刺し網漁業（流し網））
さるえび	年間15日以上休漁
まあじ	年間15日以上休漁

(取組の履行確認に関する事項)

第5条 前条の具体的な取組の着実な実施を担保するため、全ての参加者に対して、少なくとも年1回、前条の具体的な取組の履行確認を行うこととする。

2 全ての参加者は、前項の履行確認に協力するものとする。

3 第1項の履行確認は、三重県に設置された資源管理協議会（以下「資源管理協議会」という。）において行うこととする。

4 第1項の履行確認においては、前条の取組については、それぞれ次表に掲げた証拠書類等を基に確認することとする。

水産資源の種類	履行確認における証拠書類等
あわび	漁協水揚げデータ
いせえび	漁協水揚げデータ
さわら	漁協水揚げデータまたは操業日誌
さるえび	漁協水揚げデータまたは操業日誌
まあじ	漁協水揚げデータまたは操業日誌

(漁獲量等の漁獲関連情報の報告)

第6条 全ての参加者は、漁業法（以下「法」という。）第90条第1項の規定に基づき、漁獲量及び漁獲努力量、資源管理の状況、漁業生産の実績等を三重県知事に報告するものとする。

2 全ての参加者は、協定の実施のために必要とされる履行確認や効果の検証等の情報を積極的に三重県、資源管理協議会に報告するものとする。

(取組の効果の検証に関する事項)

第7条 第5条の具体的な取組の対象魚種の保存及び管理に対する有効性を確認するため、本協定の有効期間の2分の1を経過した時及び当該有効期間の終了時に、本協定の取組の効果の検証を行うこととする。

2 前項の規定にかかわらず、対象魚種の資源評価が行われた結果、資源管理基本方針（令和2年農林水産省告示第1982号）及び三重県資源管理方針において重大な変更があった場合には、当該変更があった日から1年以内に検証を行うこととする。

3 前2項の検証は、直近の資源評価の結果及び前条で報告された情報その他参考となる科学的知見に基づき、資源管理協議会において行うこととする。

(協定代表者)

第8条 協定代表者には鳥羽磯部漁業協同組合代表理事組合長をあて協定の円滑な運用を図る。

(協定に違反した場合の措置)

第9条 参加者による資源管理の目標の達成のための具体的な取組、当該具体的な取組の履行確認への協力その他の本協定及び本協定の規定に基づく要領、規約等の内容に対する違反の疑義が認められた場合には、当該違反の疑義の内容について資源管理協議会に報告し、調査及び協議することとする。

2 前項の調査及び協議の結果、違反したことが明らかになり、かつ、その違反の程度が重大なものであった場合には、当該参加者の本協定の遵守が要件となる国及び三重県からの補助を受けることができないこととする。この場合において、当該補助を受けることができない期間は、違反をした年度とする。

(協定への参加及び協定からの脱退)

第10条 全参加者の代理権を有する者（以下「協定代表者」という。）は、本協定に参加しようとする者に対して、参加届出書により参加する旨の届出を行わせるものとする。この場合において、本協定への参加は、協定代表者が当該参加届出書を受領した時点で行われるものとする。

なお、参加届出書については、鳥羽磯部漁業協同組合各支所長が取りまとめのうえ、協定代表者に届出することも可能とする。

2 参加者の住所又は氏名若しくは名称に変更が生じたときは、当該参加者は、協定代表者に対し

て、変更届出書により当該変更の内容の届出を行うものとする。

3 参加者が本協定を脱退しようとする場合には、当該参加者は、協定代表者に対して、脱届出書により当該協定からの脱退を申し出るものとする。この場合において、本協定からの脱退は、協定代表者が当該脱届出書を受理した時点で行われるものとする。

(協定の有効期間)

第 11 条 本協定の有効期間は、協定締結の日から 5 年間（令和 6 年 3 月 1 日から令和 10 年 3 月 1 日まで）とする。

(あつせんすべきことを求める場合の手続き)

第 12 条 法第 126 条第 1 項の規定に基づき三重県知事にあつせんすべきことを求める議事は、参加者の 3 分の 2 以上の多数で決する。

(その他)

第 13 条 本協定に定めのない事項については、協定代表者及び参加者間で協議し、決定するものとする。

附 則

本協定は、令和 6 年 3 月 1 日から施行する。

協定代表者 鳥羽磯部漁業協同組合 代表理事組合長 木下和行

本協定の参加者名簿

・別添参加者名簿添付